

初夏を思わせる暖かな陽射しのもと、満開の桜の中、清水勇人さいたま市長、新藤信夫さいたま市議会議員、細田眞由美さいたま市教育委員会教育長をはじめ、たくさんの御来賓の方々の御出席をいただき、さいたま市立大宮国際中等教育学校第1回入学式を迎えることができますことを、校長として大変うれしく思います。

ただいま入学を許可いたしました160名の皆さん、保護者の皆様、入学おめでとうございます。教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。

先ほど開校式において清水市長がお話しになったように、本校は埼玉県内初の中等教育学校として開校いたしました。また、国際的に評価の高い教育プログラムである国際バカロレアの導入に向けて取組みを進めております。さらに、さいたま市の新たな教育方針である3つのG、Grit、Growth、Globalを校訓として、これまでにない様々な方策で探究的な学びを深めてゆきます。そして、皆さんはここで「世界の未来の作り方」を学ぶのです。

今日から皆さんには、そんな新しいタイプの学校で、新しいプログラムに基づいて、様々な新しいことに取り組みながら、「真の学力」「未来の学力」を身につけていってもらいます。それは、自分自身がより良く生きるための学力であり、より良い未来を築くことに貢献できる学力です。ここで学ぶことによって皆さんが進んで行く道は、未来に向かう道です。その未来は、もちろん皆さん自身の未来であります。それは即ちさいたま市の未来であり、日本の未来であり、世界の未来なのです。

自分の未来でさえ予測するのは難しいのに、世界の未来を切り拓くなんて、無理なんじゃないか。皆さんはそう思うかも知れません。確かに、明日のことは予測できても、50年後の未来は予測できません。でも、予測できないからと言って、何も考えずに過ごしていると、自分では望まない未来に進んで行ってしまいかも知れません。それは、自分自身にとっても、自分たちの住むさいたま市にとっても、日本や世界にとっても、望ましくない未来かも知れません。では、より良い未来になるための答えはどこにあるのか。正しい答えは多分「まだ」「どこにも」ありません。その答えを探して、見つけるのは皆さんです。もし見つからなければ、皆さんがその答えを作らなければなりません。より良い未来、より良い世界は皆さんが作るのです。

そんな大それたこと、自分にはできるわけない。そんな大変なこと、誰か他の人にやって欲しい。そう思うかも知れません。でも、そう思う先に待ち受けているのが、望ましくない未来なのです。自分の、自分たちの、自分の愛する人たちの未来をあきらめないこと、人任せにしないこと。そして、そのためには自分に何ができるのか、何をすべきなのか。今日からの6年間で一緒に考えて、励まし合って、見つけていきましょう。そのためにまず、志を高く持ちましょう。そして、その志を実現するために必要な力を、ここ大宮国際中等教育学校で身につけていきましょう。それが「ここで学ぶ、世界の未来の作り方」ということです。皆さんはその先駆けとなる栄えある1期生なのです。

保護者の皆様、改めましてお子様の御入学、誠にありがとうございます。ほっと一息つかれたことと存じます。本校での6年間は、お子様が大人になっていく上で必要な多くの知識を身に付け、経験を重ね、自ら考え自ら行動して、様々な課題に取り組み、これを解決していく姿勢と技量を養っていく鍛錬の時です。私たち教職員一同、我が子を育てる思いで、愛情を込め、時に厳しさを持って、お子様の成長に全力を尽くしてまいります。何

卒、保護者の皆様の深い御理解と、温かい御協力をお願い申し上げます。

御来賓の皆様には、御多用のところ御臨席いただき、篤く御礼申し上げます。本校の開校に向けて、実に多くの方々の御期待と御尽力があったことに心より感謝し、十分に肝に銘じて、教職員一同それにお応えできる学校づくりに励んでまいります。今後とも格段のお力添えを賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さんのこれからの成長と、将来における世界への飛躍を大いに期待して、さいたま市立大宮国際中等教育学校第1回入学式の式辞といたします。

平成31年4月5日

さいたま市立大宮国際中等教育学校長 関田 晃